

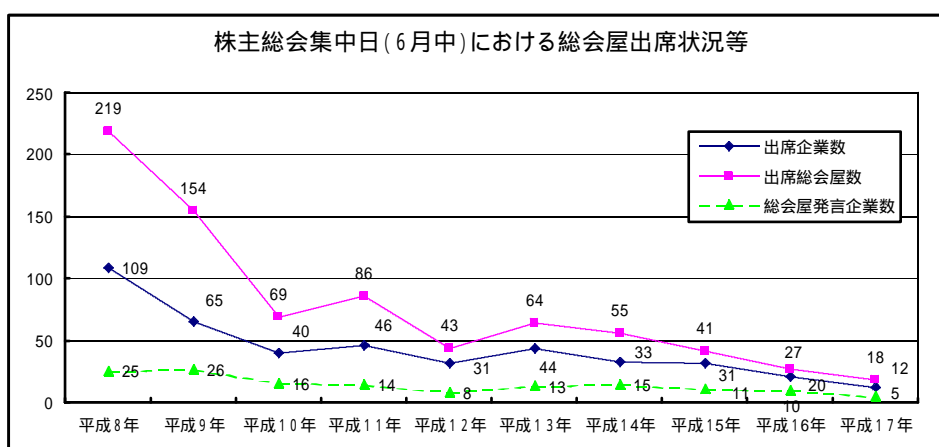
株主総会集中日における開催結果について

1 集中日（6月29日）における警戒状況

- (1) 株主総会集中日には、全国で、昨年より73社少ない1,647社の株主総会が開催された。
- (2) 各都道府県警察では、企業からの要請に基づき、昨年より83社少ない1,530社の株主総会に4,789人の警察官を派遣し警戒に当たった。なお、臨場警戒警察官数は、昨年より251人減少している。

2 総会屋の動向

- (1) 12社の株主総会に、延べ18人の総会屋が出席し、うち5社の株主総会において9人の総会屋が発言をした。
- (2) 総会屋の出席企業数、出席総会屋数、総会屋発言企業数は、昨年より減少しており、平成10年以降低水準で推移している。
- (3) 総会屋の検挙事案や退場事案はなかった。



3 本年集中日の特徴

- (1) 長時間総会の増加
2時間を超える総会は、昨年より4社増加し、34社であった。
- (2) 一般株主の発言の活発化
一般株主の発言が活発化し、昨年より55社多い650社で2,053人の一般株主が発言をした。